

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市政に対する市民の意識とその動向を把握するとともに、積極的に「市民の声」を聴き、今後の施策策定並びに市政運営上の基礎資料とするため、毎年実施している。

2. 調査の設計

① 調査内容

回答者の属性 (フェイスシート)	問1 居住するコミュニティ	問6 同居家族の世帯構成
	問2 性別	問7-1 住まいの種別
	問3 年齢	問7-2 市内居住年数
	問4 職業	問7-3 現住所居住年数
	問5 同居家族の人数	問8 暮らし向き
自転車利用環境の改善 について	問9 所有している自転車の台数	
	問10 自転車に乗るときに不便なこと	
	問11 自転車走行のための道路施設の増設	
	問12 自転車の安全利用に関するルールの認知度等	
	問13 自転車を安全に利用するためのルールやマナーについての周知	
公民館地域学習 推進員会講座について	問14 公民館の利用経験	
	問15 公民館を利用したことがない理由	
	問16 公民館の催しや講座に参加しやすい時間帯	
	問17 公民館で行っている催しや講座などの情報提供の希望	
	問18 公民館で行っている催しや講座の分野別の興味	
消費生活に関する 意識・行動について	問19 過去3年間での消費者トラブルの経験	
	問20 消費者トラブルを相談した相手	
	問21 消費者トラブルを誰にも相談をしなかった理由	
	問22 消費生活センターで消費者トラブルについて相談できることを知っているか	
	問23 消費に関して心がけている行動	
	問24 市からの消費生活に関する情報提供の希望	
男女共同参画に関する 意識について	問25 男女共同参画センターウェブの認知度	
	問26 男女共同参画センターウェブの事業の認知度	
	問27 男女共同参画における関心がある分野	
	問28 社会における女性活躍のあり方	
多文化共生について	問29 地域で日本人と外国人が相互理解を深める上での課題	
	問30 国籍や言語、文化の違いに関係なく、皆が安心して暮らせるまちづくりに向けて、市が取り組むべきこと	
	問31 多文化共生に向けた取り組みの認知度	
自由意見（記述式）		

※本報告書では、問9～問31を分析対象とした。問1～問8は「属性別回収結果」として全体値のグラフを掲載している。

② 調査方法

調査地域：市内全域

調査対象：令和元年（2019年）8月1日現在の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民（外国人住民含む）

抽出方法：系統的無作為抽出（コンピューターによる等間隔抽出）

標本数：3,500

調査方法：郵送法（調査票の配布・回収は、すべて郵送による）

調査期間：令和元年（2019年）9月1日～9月30日

3. 回収結果

調査対象者数：3,500（昨年度 3,500）

回収数：1,789（昨年度 1,834）

有効回収数：1,788（昨年度 1,831）

有効回収率：51.1%（昨年度 52.3%）